

立命館經濟學

第十九卷 第三号

昭和四十五年八月

内 容

論 說

独占段階における独自の・資本制的
生産様式と資本蓄積過程……………坂 本 和 一 1

紹 介

『経哲草稿』第一草稿の執筆順序……………細 見 英 62
——N・I・ラーピン論文の紹介——

資 料

近代経済学における数学利用……………建 林 正 喜 84
——その問題意識と利用方法 (The Review of Economics and
Statistics. Nov. 1954 のシムボジウムを回顧して)——

書 評

加藤佑治著『日本帝国主義下の労働政策……………三 好 正 巳 124
——全般的労働義務制の史的究明——』

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十九巻・第一号

論説

独占段階における

独自の・資本制的生産様式……………坂本和一

研究ノート

資本論における方法と

世界観(中・その三)……………梯明秀

——その残された諸問題の一つについて——

資料

東ドイツにおける民主的土地改革と

農業の社会主義化(一)……………大藪輝雄

——シュトラスブルク郡の場合——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第十九巻・第二号

論説

日本における鉄道政策の展開……………杉野 罔明

——とくに第一次大戦後を中心として——

『帝国主義論』の

方法についての一考察……………島津 秀典

——『帝国主義論』における展開と分析——

研究ノート

資本論における

方法と世界観(中、その四)……………梯明秀

——その残された諸問題の一つについて——

資料

東ドイツにおける民主的土地改革と

農業の社会主義化(二)……………大藪輝雄

——シュトラスブルク郡の場合——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会